

第4学年社会科学学習指導案

1 小単元名「文化財とともに生きる ～太宰府市の人々の暮らし～」

2 指導観

○ 子ども研究からみえたもの

子ども達は1学期小単元「ふるくから伝わるもの」で、福岡を代表する祭りである博多祇園山笠は、地域の人々によって大切に保存され、継承されてきたことを学習している。また、前小単元「わたしたちの住んでいる県」では、福岡県全体の地形や主な産業、交通の様子などについて、地図を活用しながら学習している。これらの学習を通して、地域の伝統を守ろうとする人々の願いがあることや、地図の読み取り、白地図の活用の仕方について考えを深めている。

本校区にも古くから残る神社や遺跡が多く、八坂神社で行われる「祇園祭り」のお囃子などに参加したりして、地域の伝統を守る行事に関わる経験が豊富な子どももいる。しかし一方では、新興住宅地に住む子どもも多く、地域の伝統や行事と触れ合う経験がほとんどない子どもが少なくない。

下の表は、本学級の子どものうち29名に対する、社会科学に関する事前アンケートの結果である。

質問内容	はい・どちらかといえばはい	いいえ・どちらかといえばいいえ
①社会科学は好きですか？		
②資料をみて「気付いたこと・わかったこと」をたくさんかくことができますか？		
③発表するのは好きですか？		
④人の意見や考えを聞くのは好きですか？		
⑤調べ学習は好きですか？		
⑥調べたことをまとめるのは好きですか？		
⑦話し合いの活動は好きですか？		

質問①⑤から、社会科学そのものや、問題解決学習については、全体の8割程度が好きと答えており、全体的に意欲が高い。また、学習の進め方においては、社会的事象をもとに学習問題をつくり、自分なりの予想をもって問題解決学習を進めていくことに、少しずつ慣れてきている。しかし、質問②③から、資料を読み取ったり、自分の考えを発表したりすることに関しては、3分の1程度の児童が苦手意識を持っている。そのため交流活動がなかなか活発にならず、各自の考えの出し合いになってしまうことも多い。ところが、質問④から、ほぼ全員の子どもの達が人の意見や考えを聞くことが好きであり、その理由のほとんどが「自分のわからないことが分かる（自分と違う考えや意見が聞ける）」というものであった。質問⑦からも話し合いの活動そのものは8割程度の子どものが好きであることが分かる。これらのことから、本クラスの子どもの達は、交流活動を通して考えを練り上げていくことに対する価値を認めているにも関わらず、資料を読み取ったり、発表したりすることが苦手なため、交流活動が深まらないという実態が見えてきた。まずは資料などをもとに自分なりの考えを持ち、意欲的に伝え合うことができれば、違いや共通点などをもとにして考えをより確かなものにできるであろう。

そのためには、子ども達が話し合いたくなるような教材を取り上げて、思考の流れに沿った交流活動を仕組む必要がある。教師が、子どもの考えを十分に把握した上での意図的な指名や、考えをゆさぶるような事実に出会わせる場の工夫などの構想を十分に持って交流活動に臨めば、子ども達は交流活動のよさを味わい、考えをより確かなものにしていくことができるであろうと考える。

○ 教材の価値、意義

本小単元では、「歴史ある建造物や街並み、祭りなどの地域の伝統や文化を受け継ぎ保護・活用しながら、地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域」として、太宰府市を取り上げる。太宰府市は、奈良・京都・東京に続く国立博物館である九州国立博物館に象

徴されるように、全国でも有名な歴史のまちという特色がある。さらに、初詣などで実際に行ったことがある子どもも多く、親近感を持ってより実感のこもった学習を進めていくことができるであろう。

下の表は、本学級の子ども達30名のうち29名に対する、福岡県内の観光地（自分たちの住んでいる福岡市以外）に関する事前アンケートの結果である。

場 所	人 数	何をしにいきましたか？
太宰府市		
糸島市		
北九州市		
柳川市		
うきは市		
久留米市		
甘木市		
築城市		
八女市		

このうち糸島市は校区に隣接しており、買い物やドライブなどにも利用されるため、多くなっている。また、北九州市は、その目的地のほとんどがスペースワールドである。以上のことから考えると、福岡県内において、本クラスの子ども達に広く認知されている「歴史ある建造物や街並み、祭りなどの地域の伝統や文化」を生かした観光地としては太宰府市の存在が圧倒的であり、ほぼ全員が観光をした経験があることが明らかになった。

このような実態のもと、太宰府市に（子ども達自身も含めた）観光客が1年間で人口の約90倍も訪れる理由を追究していくことは、子ども達にとって魅力的で、追究意欲も高まっていくであろう。

○ 指導・支援の方法

（つかむ段階）

- ・太宰府市の概要について、福岡市との位置関係や、文化財が多く残ること、交通網が発達していることを、地図を読み取りながら知る。
- ・太宰府市の人口69937人（平成22年7月現在）と、年間観光客数約600万人（太宰府市HPより）を比較し、その差から学習問題をつくる。観光客数の多さを実感できるように、人口と観光客数とを紙テープの長さで示していく。

（さぐる段階）

- ・学習問題について予想し、視点毎に事実を追究していく。

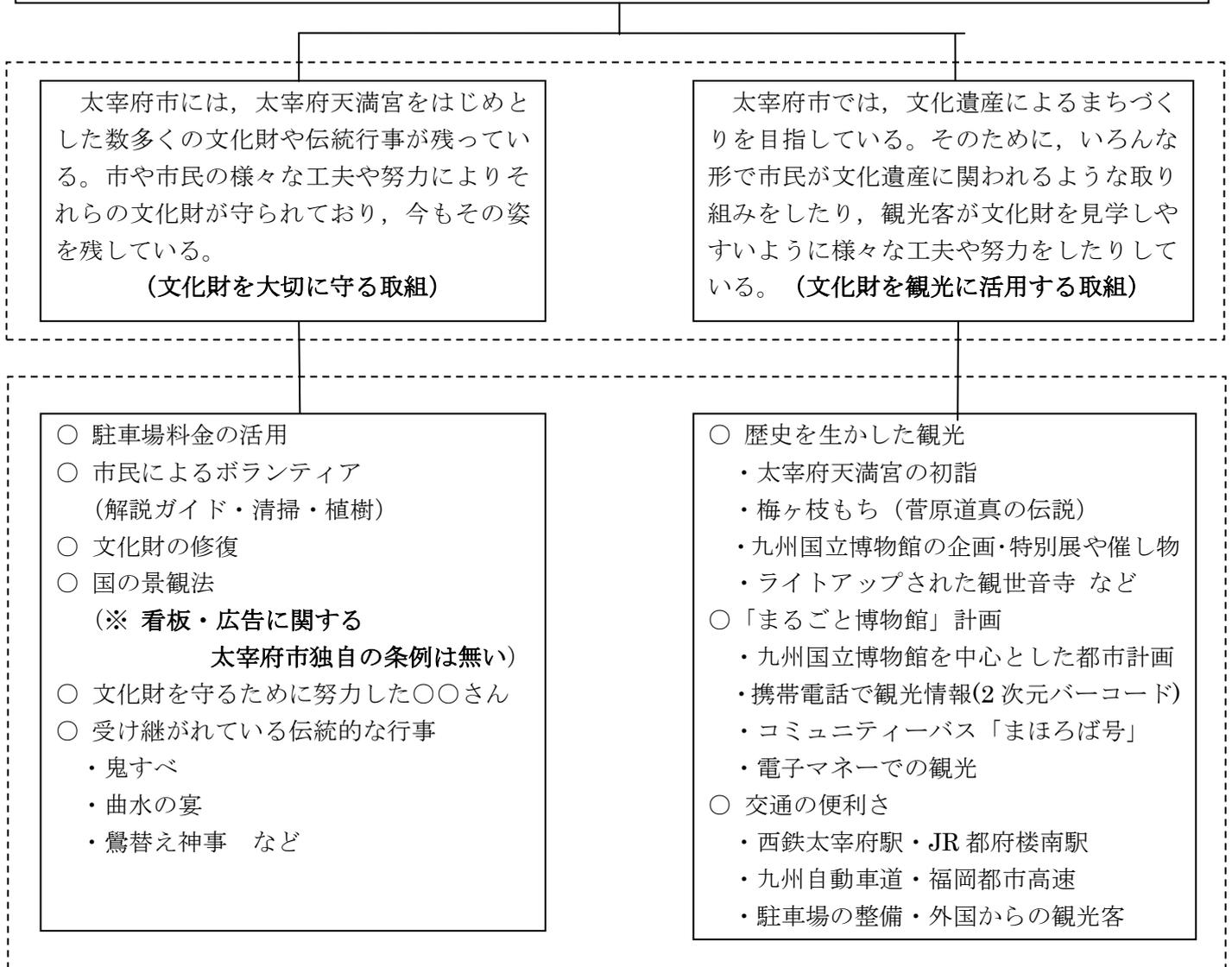
（まとめる段階）

- ・身に付けた知識を、条例を考えるとという追体験活動をして、より切実な思いに深化させていく。
- ・最終的にクラスで考えた条例を、太宰府市長にも見てもらうことをつけ、交流への意欲を高める。
- ・事前に子どもの考えを把握・類型化して構想図にまとめ、意図的指名をしていく。
- ・集約に向け、〇〇〇〇祇園店（京都府）の写真を提示し、街並みと共生した看板広告もあることを知り、自分の考えを見直す。
- ・交流後に前時の学習問題の答えを見直し、文章化させてその変容を見取る。

3 単元構成図

太宰府市には、伝統的な建造物や遺跡、年中行事など、多くの文化財が残っている。太宰府市や太宰府市の人々は、文化財を大切にすまきまりをつくったり、文化財を修復したり、周囲を清掃したりしてこれらの文化財の保護に努めている。また、これらの文化財を活用した観光に力を入れており、さらに交通の便もよいため、毎年たくさんの観光客が訪れている。

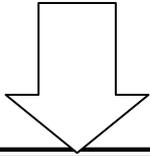
これから太宰府市をさらに発展させていくためには、これまでのように文化財を保護・活用しつつ、様々な立場の人々が共生していけるようなまちづくりをさらに目指していく必要がある。



4 目標

- 文化財が多く残る太宰府市の人々の生活について関心を持ち、太宰府市にたくさんの観光客が訪れる理由について意欲的に追究することができる。(関心・意欲・態度)
- 太宰府市をさらに発展させていくために、文化財を保護・活用していくことに加え、様々な立場の人が共生していけるようなまちづくりについて考えることができる。(思考・判断)
- 太宰府市にたくさんの観光客が訪れる理由について、自分の課題を解決するために必要な情報を選び、具体的事実に基づいて作りあげた自分の考えについて、まとめたり、話し合ったりすることができる。(表現を含めた資料活用能力)
- 太宰府市にたくさんの観光客が訪れる理由について、市に残る文化財を保護・活用しながら観光を中心としたまちづくりで発展しているまちであることを理解することができる。(知識・理解)

5 指導計画（11時間）

学習過程	主な学習活動と内容	留意点（○）及び評価規準（※）	配時		
つ か む	<p>1 太宰府市について知り、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 資料をもとに、太宰府市の概要について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">福岡県地図</p> <p style="text-align: center;">太宰府市地図①（主な文化財がわかるもの）</p> <p style="text-align: center;">太宰府市地図②（主な交通網がわかるもの）</p> </div> <p>(2) 太宰府市の人口と観光客数の資料から学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">棒グラフ(太宰府市の人口と観光客数)</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>学習問題</p> <p>なぜ、太宰府市には人口の約90倍もの観光客が来るのだろうか？</p> </div>	<p>※（関心・意欲・態度）</p> <p>○太宰府市の人口 69937 人 （平成 22 年 7 月現在） 年間観光客数約 600 万人 （太宰府市 HP より）</p> <p>○人口と観光客数とを紙テープの長さで示していく演出で、観光客の多さへの驚きを高める。</p> <p>※ 資料をもとに、自分なりの学習問題をつくることができる。（思考・判断）</p>	2 ① ①		
	<p>2 学習問題に対する予想を立てて交流し、追究の見通しをもつ。</p> <p>(1) 資料をもとに学習問題に対する予想を立てる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太宰府市地図①（主な史跡がわかるもの） ・太宰府市地図②（交通網がわかるもの） ・教師作成の太宰府刊行 VTR（文化財を活用した催し物） </div> <p>(2) 自分の予想を小グループで交流する。</p> <p>(3) 学習問題に対する予想と根拠を全体で交流し、視点ごとに整理していく。</p> <p style="text-align: center;">～考えられる子どもの予想と視点～</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・古いものがたくさん残っているから。 ・そうじしたりして大切にしているから。 <p style="text-align: center;">〈古いものを大切に守っている〉</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太宰府天満宮での初詣でが人気があるから。 ・交通が便利だから。 <p style="text-align: center;">〈古いものを観光に利用している〉</p> </td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・他にも文化財を守る取組みが ないか調べてみよう。 ・修理するお金はどこから出 ているんだろう？ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・太宰府天満宮以外では、ど んな催し物があるのかな？ ・市民による観光客が来てく れるような取組みを調べよう。 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・古いものがたくさん残っているから。 ・そうじしたりして大切にしているから。 <p style="text-align: center;">〈古いものを大切に守っている〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太宰府天満宮での初詣でが人気があるから。 ・交通が便利だから。 <p style="text-align: center;">〈古いものを観光に利用している〉</p>	<p>○学習問題の答えのヒント資料を提示し、どの子も予想を持てるようにする。</p> <p>○予想とその根拠を明らかにして、学習ノートに書かせるようにする。</p> <p>○この交流を通して、安心して自分の考えを発表できるようにする。</p> <p>○別の視点の予想に対し質問や意見を交換し、これから調べることをはっきりさせる。</p>	1
<ul style="list-style-type: none"> ・古いものがたくさん残っているから。 ・そうじしたりして大切にしているから。 <p style="text-align: center;">〈古いものを大切に守っている〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太宰府天満宮での初詣でが人気があるから。 ・交通が便利だから。 <p style="text-align: center;">〈古いものを観光に利用している〉</p>				

<p>さぐる</p>	<p>3 視点に沿って調べ、太宰府市にたくさんの観光客が来るわけを追究する。</p> <p>(1) 資料をもとに視点に沿って調べる。</p> <p>〈文化財を守る取り組み〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・九州国立博物館のホームページ(文化財の修復の部分) ・伝統的行事のリーフレット ・ボランティアの方々の写真(史跡清掃・解説ガイド・植樹) ・教師作成の太宰府観光 VTR </div> <p>〈文化財を活用する取り組み〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット(ICエコまちめぐり) ・九州国立博物館のホームページ ・太宰府市地図②(交通網・主な駐車場の位置がわかるもの) ・教師作成の太宰府観光 VTR </div> <p>(2) 考えとその根拠を表現物にまとめていく</p> <p>(3) 同じ視点のグループで交流し、質問・意見交換をしながら自分の考えを強化したり修正したりする。</p>	<p>○ 追究の資料として、観光用のリーフレット類やホームページ等を多く用いることで、太宰府について知る環境が整っていることに気付かせる。</p> <p>○ 調べた事実と学習問題とがどのように結びつくのかを常に意識するよう声かけをする。</p> <p>○ 資料(写真・グラフ・図など)と、資料からわかることを表現物にまとめていく。</p> <p>○ 交流活動を通し、事実同士の関連性に気付いていく。</p>	<p>4 ②</p>
<p>まとめ</p>	<p>4 調べたことを全体で交流し、学習問題の答えをまとめる。</p> <p>(1) これまで調べてきたことをもとに、太宰府市にたくさんの観光客が来るわけについて話し合う。</p>		<p>① ①</p>
	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>太宰府市にはたくさんの文化財が残っている。太宰府市や太宰府市の人々は、文化財を大切にすまきまりをつくったり、文化財を修理したり、まわりをそうじしたりしてこれらの文化財を守っている。また、これらの文化財を生かした観光に力を入れている。さらに交通も便利だから、人口の約90倍もの観光客が来ている。</p> </div> <p>(2) 太宰府市のこれからの課題について知り、これからの太宰府市をよりよくするための条例を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>写真(広告・看板で景観が乱されている様子)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>棒グラフ(市民の考える景観を乱している要因)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>写真: 校区にある〇〇酒造の看板 (お店の人の立場に立つための資料提示)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>市役所の方の話(VTR: 景観に関するきまりを考えてね!)</p> </div> <p>(3) 学習したことを生かして、太宰府市のきまりについて交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>写真(〇〇〇〇祇園店)</p> </div> <p>(4) 学習問題の答えと「4の4サミット」の交流をもとに、これからの太宰府市の景観を守るためにどうしたらいいかを話し合う。</p>	<p>○ 広告や看板を出している人の立場にも目を向けさせ、広告や看板の設置に賛成・反対両方の意見が出るようにする。</p> <p>○ クラスで決めた条例を最終的に太宰府市に提案することで、活動への意欲を高める。</p>	<p>4 ① ① (本時) ①</p>

6 本時 10/11

平成22年10月 日

7 本時の目標

- 交流活動を通して、自分の考えを複数の立場から見直し、より確かなものにすることができる。
- 太宰府市民・観光客・お店の人など様々な立場の人のことを考えながらまちが発展していけるような取組を考えようとするができる。

8 本時指導に当たって

これまで子どもたちは、太宰府市が文化財を保護・活用しながら観光を中心としたまちづくりに力を入れていることを追究してきた。そこで身に付けた知識をもとに、「これからの太宰府をよりよくしていくための条例を考える」という追体験活動を通して、身に付けた知識をより切実な思いに深化させていくのが本時のねらいである。

ねらいを達成するために、次のような手だてを取る。

- 最終的にクラスで考えた条例を、太宰府市長にも見てもらうことを想起させ、交流への意欲を高める
- 太宰府市とお店の人との二つの視点の葛藤を、これまでの学習をもとに根拠を示しながら交流する
- 事前に子どもの考えを把握・類型化して構想図にまとめ、意図的指名をしていく
- 集約に向け、〇〇〇〇祇園店（京都府）の写真を提示し、街並みと共生した看板広告もあることを知り、自分の考えを見直す。
- 交流後に前時の学習問題の答えを見直し、文章化させてその変容を見取る

9 本時の展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点（○）
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>めあて</p> <div data-bbox="140 1104 999 1207" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">かん板や広こくの問題を解決するために、 太宰府市の新しいきまりを考えよう</div> <div data-bbox="169 1227 963 1279" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">写真（広告・看板で景観が乱されている様子）</div> <p>2 自分の考えを発表し、全体で交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div data-bbox="97 1485 544 1778" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>～広告や看板を無くす～</p><ul style="list-style-type: none">・歴史の風景が台無しになる・市や市民が努力して守ってきた文化財を大切にしなければいけない・太宰府の文化財を楽しみにしている観光客が減ってしまう</div><div data-bbox="576 1485 1023 1778" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>～看板や広告を無くさない～</p><ul style="list-style-type: none">・そのお店の人の生活がかかっている・文化財の近くでなければ出してもよい・派手すぎないようにすればいい</div></div> <div data-bbox="113 1845 1010 1995" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>・広告や看板を完全に無くしてしまうきまりにするのも、街並みにあわない看板や広告を自由に立てよとしてしまうきまりにするのも、どちらもいい考えではなさそうだね…。</p></div>	<p>○ 太宰府市では、景観に関する条例をつくろうとしていること、クラスで決めた条例を最終的に太宰府市に提案することを市役所の方から告げてもらい、活動への意欲を高める。</p> <p>○ 資料を用いて、根拠を挙げながら要点をわかりやすく伝えるようにする。</p> <p>○ はじめにそれぞれの立場の考えを出し合わせる。その後、論点をしぼって交流する。</p> <p>○ 交流の論点は、</p> <ul style="list-style-type: none">・看板があると観光客がへるのか・規正の具体的内容 <p>の2点とする。</p> <p>○ 「無くす」「無くさない」という一方的な考え方はきまりにできないことに気付かせる。</p>

3 ○○○○祇園店（京都府）の写真をと、文化財を生かしたこれからの太宰府市のあり方について再度考えを見直す。

写真（○○○○祇園店）

一方的な見方でなく、お互いの立場を考えた広告や看板をつくっていくことが大切だね！そんなまちづくりをしていけるようなきまりにしていかなければいけないと思うよ。

○ ○○○○祇園店（京都府）の写真を提示し、街並みと共生した看板広告もあることを知り、自分の考えを見直す。

4 学習問題の答えを見直し、「今日の学習で」に書く。

はじめは、太宰府市の文化財を守りながら、観光に生かしていくことが大切だと思ったので、看板や広告などは全部禁止にするきまりをつくりたいと思っていました。でも観光客に向けて看板や広告を出して、そのおかげで生活をしていける人もいたこともわかりました。もし、わたしの考えたきまりがつくられたら、そんな人たちは困るだろうと思いました。だから、○○○○祇園店のように、文化財のないところだけにするとか、派手すぎず、街並みになじむような色・大きさなどを決めるとかのように、お互いの立場を考えた看板や広告にするきまりをつくれればいいのではないかと思います。

10 板書計画

10/25 文化財とともに生きる～太宰府市でくらす人々～

めあて

かん板や広こくの問題を解決するために、
太宰府市の新しいきまりを考えよう

4の4サミット
～新しいきまりを太宰府市長にたいあんしよう～

太宰府市役所
の方の写真

太宰府市の条例づくりに協力してください！

広告・看板をなくす

- ・歴史の風景が台無しになる
- ・太宰府の文化財を楽しみにしている観光客が減ってしまう
- ・市や市民が努力して守ってきた文化財を大切にしなければいけない

看板や広告をなくさない

- ・そのお店が楽しみのひとつの人もある
- ・文化財の近くでなければ出してもよい
- ・派手すぎないようにすればいい
- ・そのお店の人の生活がかかっている

- ・歴史のまちなみにあっている
- ・観光客もお店の人も市民も満足できそう
- ・太宰府市の広こくやかん板もまねしたらいいと思う

今日の学習で